

【資料4】地域経済ビジョン主要指標の状況・考察

指標	基準年／実績値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標達成度	目標年／目標値	主要指標についての考察・考え方・要因等 (R7達成度目安:80%)	これまでの取組及び今後の対応
就業人口1人あたりの総生産	平成29年度	7,314千円	—	—	—	103.4%	令和8年度	○令和7年度の実績値なし(令和5～7年度の実績値は8年度以降に集計)	令和7年度の実績値は出ていないところではあるが、これまでも収益性を高めること、高付加価値の事業を実現させること、人材の育成・確保を柱として取り組んできており、今後も引き続き3つの柱を中心に積極的に取り組むことで地域の稼ぐ力を強化していく。
	6,534千円						7,073千円		
農林水産業産出額	令和2年度	148億8,800万円	178億2,400万円	193億7,900万円	224億2,800万円	142.2%	令和8年度	○令和7年度の目標達成率は142.2% 目標作成の根拠となったH28～R2の平均と比較して、水産業産出額の増加が主な要因として挙げられる。 目標：農業94億8,500万円 林業 6億1,600万円 水産 56億7,300万円 合計157億7,400万円 令和7年度：農業93億9,600万円 林業11億3,300万円 水産118億9,900万円 合計224億2,800万円 目標比：-8,900万円 -99.1% +5億1,700万円 183.9% +62億2,600万円 209.7% +66億5,400万円 142.2%	第3期鹿児島県農林水産業振興プランに基づき、担い手農家の確保・育成を図るとともに、スマート農林水産業の推進や、6次産業化・農工商等連携の推進など、「稼げる農林水産業」を目指すこととしており、今後も各種施策に取り組む。
	145億9,400万円					(+66億5,400万円)	157億7,400万円 (+11億8,000万円)		
宿泊観光客数	令和2年度	295.8万人	377.9万人	402.0万人	401.9万人	100.5%	令和8年度	○令和7年度終了時点における目標達成率は100.5%(401.9万人/400万人) 令和7年は、新燃岳の噴火や姶良市・霧島市で発生した記録的な大雨の影響があったものの、本市独自の宿泊キャンペーン等の実施により、宿泊観光客数は前年並みで推移した。うち外国人宿泊観光客数は、一部の国・地域における定期便の影響があったものの、前年を上回り、コロナ前の令和元年に次ぐ過去2番目となった。 令和元年:390万人(日本人:340万人、外国人:50万人) 令和7年:402万人(日本人:359万人、外国人:43万人)	宿泊観光客数の増加に向け、本市独自の宿泊キャンペーンをはじめ、大阪・関西万博を契機とした広域連携によるプロモーション等を実施したほか、誘客力のある観光イベントの開催など滞在時間の延長につながる取組等を行った。 今後とも、世界に誇るオンリーワンの観光資源を生かし、まちの魅力を高めるとともに、国内外に向けたプロモーションを積極的に展開していく。
	207.6万人					(+194.3万人)	400万人 (+192.4万人)		
観光による経済波及効果	令和2年度	1,204億円	1,650億円	1,741億円	1,947億円	88.5%	令和8年度	○令和7年度終了時点における目標達成率は88.5%(1,947億円/2,200億円) 令和7年は、入込観光客数が増加したほか、日本人の1人1泊あたりの観光消費額が増加したことなどにより、観光による経済波及効果は前年を上回った。 令和元年:2,057億円 令和7年:1,947億円 経済波及効果=観光消費額(観光客数×消費単価)×域内調達率	観光による経済波及効果の拡大に向け、これまで、新たな観光コンテンツの創出に取り組むとともに、体験型観光メニューや宿泊施設等の高付加価値化への支援を行ってきたほか、サマーナイト大花火大会やおはら祭などのイベントの経済波及効果を調査・分析し、観光消費額の増に向けた取組の検討に活用してきたところであり、今後とも、オンリーワンの魅力創出や戦略的な誘客促進、受入体制の充実に向け、各種施策に取り組む。
	830億円					(+1,117億円)	2,200億円 (+1,370億円)		

(注1)各数値については、それぞれ出典資料名を記載した。記載がないものは本市調査による。

(注2)目標達成度欄の()は、直近の実績値ー基準年の実績値。